

市の考えを問う 一般質問

6月14日・15日・16日の3日間行われた一般質問の主な質問（Q）と答弁（A）の概要を掲載します。



埼玉県農業大学校の跡地周辺の樹林地

Q 鶴ヶ島市の未来に 対する不安

長谷川 清 議員



A 人口構造の若返りを図り、 元気なまち鶴ヶ島を維持する

質問一 (株)IHIの報道に関する市の考えは。

二 雇用、人口、税収等の想定と対比して。

三 農大跡地は、多目的グラウンド、緑の保全、企業誘致に3分の1ずつ利用するという確約は。

四 最重要政策である「水土里の交流圏」構想の実態について。

五 今後の鶴ヶ島市の戦略は。

答弁一 (市長) 地域の雇用と産業振興につながる製造業を中心と

した産業の集積を要望してきた。

日本有数の大手企業に検討いただけることは、雇用創出にもつながり、市の考える方向性と合致する。

二 現時点での詳細な試算は難しいが、優良な企業の進出は、市の財政基盤の強化等につながる。

三 当該過去の知事の発言は、面積の目安ではなく、機能としての目安であると認識している。

四 企業誘致や雇用機会の確保、特産品の創出支援、地域の魅力の創出、人々の交流などを進めてきた。今後も市全体の活性化を図り、若い人の定住や交流人口の増加につなげたい。

五 人口構造の若返りを図り、超高齢・人口減少社会への対応と活力あふれるまちづくりに取り組み

◎**その他の質問** 挨拶は人間としての基本。

Q

農大跡地活用の新聞 報道及び周辺の今後

内野 嘉広 議員



A

鶴ヶ島の将来を左右する 大きな事業である

質問一 新聞掲載内容の真相は。
二 埼玉県との協議状況について。
三 企業誘致のタイムスケジュールについて。
四 道路、上下水道等の整備は。
五 自然環境の保全について。
六 地元地区及び環境団体への対応について。
七 総合ビジョンについて。
答弁一 (市長) 現時点では、決定していないが、県からは、株式会社IHIが進出を検討していると聞いている。

五 生態系を考慮して緑地や水辺を保全するよう県に要望する。
六 事業の進捗に合わせて説明会を開き、意見を伺いながら進める。
七 産業力の増大と雇用の創出は、市民生活の向上につながる。また、優良企業の進出は、市の財政基盤を強化する。周辺の運動公園や樹林地などを活用して、人々が集い、交流する魅力あふれる地域とする。



埼玉県農業大学校の跡地